

▼ ケースプレゼンテーション試験発表症例概要報告書チェックリスト

ケースプレゼンテーション試験受験には、必ず本人が以下の事項を確認し、所属の研修施設長にも確認を受けた上で当リストと共に発表症例の概要報告書を提出して下さい。

【申請者および研修施設長のチェック【☑】および署名捺印が無いものは受け付けません】

申請者 施設長

- ☐ ☐ 1. 申請者は日本口腔インプラント学会会員歴が2年以上あり、学術大会参加登録が完了し、参加費用とケースプレゼンテーション試験審査料を納めている
- ☐ ☐ 2. 術前口腔内写真、術前パノラマエックス線写真、上部構造装着直後の口腔内写真、上部構造装着3年以上経過後の口腔内写真(5枚法:正面・左右側方・上下咬合面観)とパノラマエックス線写真がある
【術前パノラマエックス線写真が抜歯前のものである場合、抜歯後の骨治癒を診断した追加画像診断資料等がある症例(抜歯即時埋入の場合は不要)】
- ☐ ☐ 3. タイトルには、商品名や特殊な略号、句読点「,」「.」が入っていない
- ☐ ☐ 4. 薬事法上の未承認材料を使用していない
- ☐ ☐ 5. 所属名は学会指定研修施設になっている(受験には学会指定研修施設への研修施設証明書が必要、1施設のみ記載)
- ☐ ☐ 6. 学会指定研修施設での所属研修歴が2年以上でかつ学会指定研修施設で認定講習会(旧名:100時間コース)を修了している【大学系研修施設所属者については本学会専門医制度規程11条に規定された研修内容に相当する教育等を大学施設内で受け修了している】
また、送付書類に研修施設在籍証明書、認定講習会等終了証明書の添付がある
- ☐ ☐ 7. 英文の受験者名は姓(すべて大文字)と名のイニシャル(大文字)である(例:東京 一郎:TOKYO I)
- ☐ ☐ 8. 会員番号、緊急連絡先電話番号およびE-mailアドレスの記入がある
- ☐ ☐ 9. 抄録記載項目は、Ⅰ 緒言、Ⅱ 症例の概要、Ⅲ 治療内容、Ⅳ 経過と考察、Ⅴ 結論の順になっている
- ☐ ☐ 10. 日本口腔インプラント学会誌の用字規則に従っている(「ヶ月」(誤)→「カ月」(正)「…の事」(誤)→「…のこと」(正)、「…の為」(誤)→「…のため」(正)など)
- ☐ ☐ 11. 審査料の郵便振替による送金の控えのコピー(A4版、白黒可)を概要報告書と共に同封している(控えの原本は受験者が保管)
- ☐ ☐ 12. 日本口腔インプラント学会主催学術大会・支部学術大会・講演会等における講演・口演・ポスター発表に関わる利益相反(COI)自己申告書(様式1)がある

※上記チェック欄(☐)に申請者と所属研修施設長の両方から必ずチェック(✓)を入れ、下記に署名と捺印の上、発表症例の概要報告書(施設長の自署と捺印済みのもの)と一緒に提出してください。

※書類提出前に、学術大会参加事前登録、ケースプレゼンテーション試験受験のオンライン申請、受験審査料の振込が全て済んでいることを再度ご確認ください。

上記チェック項目を全て確認致しました。

・申請者氏名(自署) ㊦ 2016 年 月 日

・研修施設長氏名(自署) ㊦ 2016 年 月 日